

十日町の女

作詞 吉川文郎

作曲 三木かおる

雪の祭りの 城ヶ丘
はじめて逢った そのひとは
雪より白い ひとでした
着物の似合う ひとでした
ああ雪国の 十日町のひと

指の冷たい ひとならば
心は燃えて いると言う
かすかに触れた 小指さえ
雪人形の 雪に似て
ああ冷たさが 胸にしみたひと

雪にうまれて 機を織る
つむぎのひとよ さようなら
背広の肩に 舞う雪を
はらってくれた 優しさが
ああ忘れられぬ 十日町のひと